

こ たし がくりよく はぐく
子どもたちの「確かな学力」を育むために

れいわ ねんどくるめしがくりよく せいかつじったいちようさ けっか し
令和5年度久留米市学力・生活実態調査の結果のお知らせ

れいわ ねん がつ くるめ しきょういくいんかい
 令和5年7月 久留米市教育委員会

がっつ にち もく くるめ しりつちゅうがっこう ねんせい せいと たいしよう じっし がくりよく せいかつ
4月13日（木）に久留米市立中学校の1・2年生の生徒を対象に実施した「学力・生活
実態調査」の結果をお知らせします。ご報告する結果と課題については、測定できた学力等の
一部ではありますが、確かな学力を育む上で大変重要なものです。

また、裏面には、「生活実態調査（生活習慣・学習習慣に関するアンケート調査）」の結果
 をもとに、久留米市の生徒の現状と課題を示しています。保護者のみなさまへのお願いもあり
 ますのでご確認ください。

なお、お子様個人の結果については、学校から配布される個人票をごらんください。



がくりよくへん
学力編

れいわ ねんどがくりよくじったいちようさ けっか
【令和5年度学力実態調査の結果】

学年	1年		2年		
	国語	数学	国語	数学	英語
久留米市の平均正答率(%)	54.5	61.8	59.9	49.3	39.2
全国の平均正答率(%)	59.2	65.8	63.9	53.4	46.1

※問題は前学年の内容です。（1年生の問題は小学校の内容です。）

けっか
【結果】

- すべての教科・学年において平均正答率が全国の平均正答率を下回りました。
- 全体的に、「基礎」よりも「活用」、「知識・技能」よりも「思考力・判断力・表現力」を問う問題において課題が見られました。

【今後の取組】 ※特に課題が見られた問題から、以下のような取組を進めていきます。

国語 → 「書くこと」に関する問題に課題が見られました。特に自分の考えを明確に書く問題において、約4割が無解答でした。学校では、必要な情報を抜き出して書く、複数の情報を関連づけて書く、立場を選択して根拠や理由を明確にしながらかなど、日常的に書く活動を充実させます。

数学 → 「一次方程式」において課題が見られました。日常生活を題材とした問題を取り上げ、具体的な場面と関連付けて、図や表、グラフなどから考察し表現する学習活動を行います。

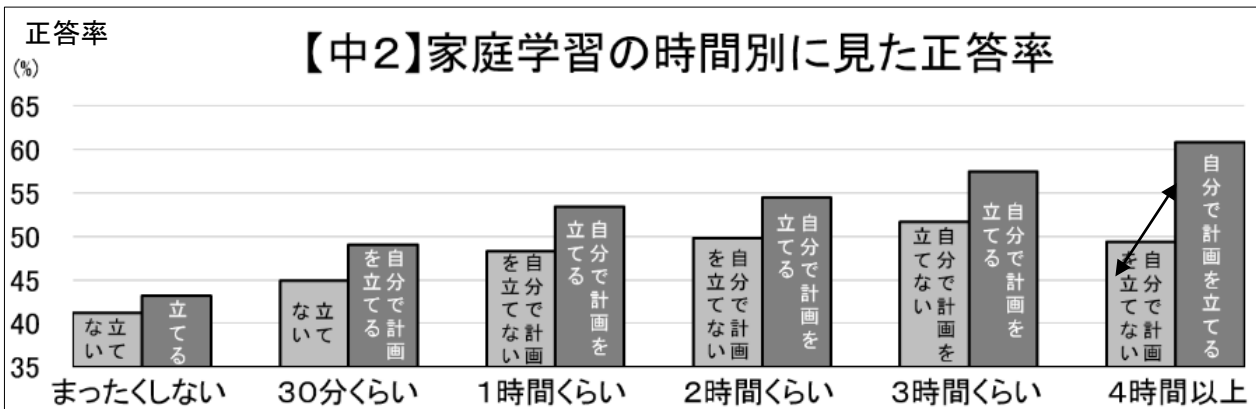
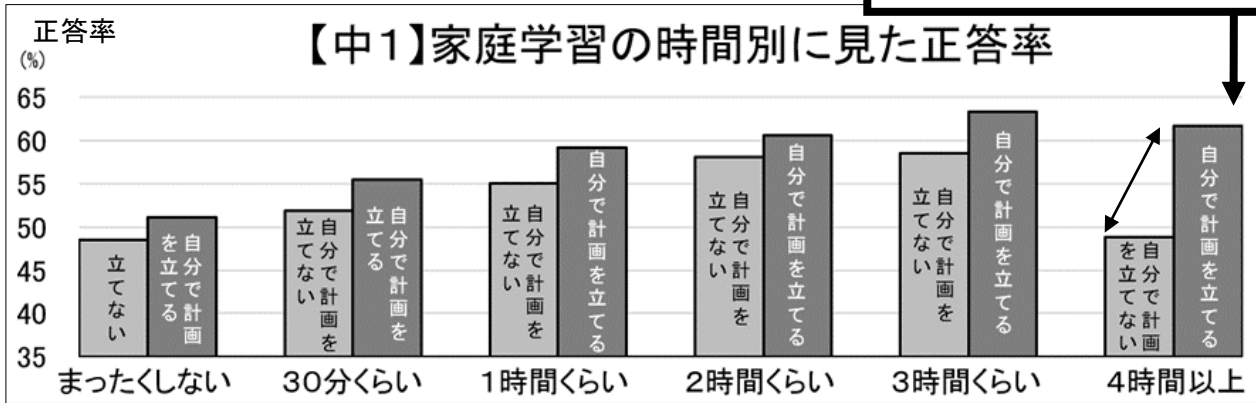
英語 → 「書くこと」において、課題が見られました。日々の授業において、目的・場面・状況を設定し、自分の考えや気持ちを書く活動を行います。また、初見の英文や資料等を読んで、まとまりのある英文を書く活動もを行います。

【生活実態調査（生活習慣・学習習慣に関するアンケート）の結果から】

質問① 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、
1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾なども含む。）」

質問② 「勉強するときは、自分で計画を立てていますか。」

計画を立てて学習する生徒は、計画を立てずに学習する生徒よりも正答率が高い。



質問①と②の結果を合わせて表したのが上のグラフです。それぞれの時間の左右のグラフを比べると、同じ学習時間であっても、計画を立てて学習する生徒の方が、計画を立てずに学習する生徒より正答率が高いことがわかります。つまり、家庭学習の時間を確保することに加え、計画を立てて学習に取り組むことにより、学習効果が高まります。

このことについては、ここ数年にわたって同じ傾向が見られますので、引き続き、改善が必要であると考えます。

ご家庭へのお願い

お子様の学力を伸ばしたり保ったりするには、ご家庭での生活習慣と学習習慣づくりが基盤となります。これからも、以下のことに、学校と協力しながら取り組んでいただきますようお願いいたします。

- 子ども自身による家庭学習の計画づくりを支援しましょう。
- 家庭学習に取り組む姿に対して、ほめる言葉をたくさんかけましょう。
- 学習時間の確保のため、メディアに接する時間について、家庭でルールを決めましょう。

